

こどもの権利に関する条例（仮称）素案の考え方

すべてのこどもがウェルビーイングで成長できるこどもまんなか社会の実現を以下の4つの柱で目指す。

（１）こどものウェルビーイングをこどもの権利の観点から具体化し 県民の共通理解を促進

こどもの権利を具体的に規定し、効果的な普及啓発を実施

（２）こどもが安心して成長できる環境整備

困難な状況にあるこどもを誰一人取り残さずきめ細かく支援

（３）こどもの自己選択・自己決定を尊重

こどもが権利について学び、安心して意見を述べ、主体的に、自分らしく生きることができるよう支援

（４）こどもの悩みを解決するための第三者機関の設置

こどもが不安や悩みを解決したり乗り越えたりするための体制整備